

# れんげんだより 13

## 第13回研修

発行責任者

員弁組連研事務局

松隆寺 渡辺邦俊

## 今月の仏事作法

### 「正信偈の唱法③」

\*今回は聖典36ページ、念仏和讃の初重のところからです。

\*拍は一定の速さでおつとめできるような、皆でおつとめするのに揃うように大切なものです。ここでは、一字一拍です。「引」の記号のところは二拍とのばします。

\*和讃では、息つぎの記号「、」が一行に1か所出てきますが、拍の中で息つぎをしていただきます。です。行によって、あるなしがあります。

\*割りかなのあるところは表記がありますので、文字通りに割って読んでください。



木村知晃さん  
(13日講 長伝寺)

## POINT

\*一首目と讃一行目、「このかたは」のところは、早くなりやすいので要注意です。

\*二首目と讃一行目、「光明」の「明」は上がりすぎないように注意してください。

## 今回のテーマ

「私たちは、環境問題にどのようにかかわり、どんな取り組みをしていけばいいのでしょうか。」

### 問題提起

地球のあらゆる動植物は、自然の恵みによって生命を営んでいます。自然は、その偉大さや美しさで感動や恵みを与えてくれますが、同時に嵐や地震などの人間を超えた大きな力で、私たちに畏怖の念を抱かせます。

一方、科学の進歩とすべてが科学で解決できると考える中で、無条件で無分別な開発と成長が、ここ数十年間で地球の調和を壊してしまったと思えます。そして近年、科学の発展に相応して、環境破壊の問題が我々の身に直接関係し、日常生活を脅かす「時代が生んだ切実な問題」となりました。中でも、温室効果ガス排出による地球温暖化が問

題視され、「このまま温暖化が進めば、地球の生態系が破壊され、災害が増える」とマスコミでも度々取り上げられ、多くの報道がなされております。

しかし、一方で「今さら便利な生活をやめるわけにもいかない」という意見や「地球温暖化が、環境破壊をもたらすことに何の根拠もなく、そもそも現在の地球の気温上昇を問題とすべきなのか」という懐疑的な意見も出ています。そして「環境にばかりこだわって、産業の発展を遅らせることになれば、経済の破綻につながる」という考え方もあります。では「この問題にどう関わり、どう解決していけばいいのか」と疑問が生じます。

今日は、環境問題に対して「私たち一人一人に何ができるのか、そしてその取り組みは、宗教が入り込む問題ではないのか」ということをテーマに話し合ってください。

### 話し合い法座で出された意見(一部)

(私達が取り組みまなければならない環境問題)

\*地球温暖化が心配。自分の子や孫世代の時点の海面上昇の影響や、気候変動の問題などが気になる。温室効果ガスを発生しないエネルギーをもっと真剣に考える必要があるように思う。

\*耕作放棄地が見られるが、これも環境問題だ。獣が住み着いてしまったりするので。

\*最近作物を植えるのに、温暖化の影響か、通常より2、3週間早めにならないともう遅い。

\*ポイ捨てとかゴミ投棄の問題、とくに道路わきの田んぼとかにも多くみられる。

\*ごみ問題、食物の廃棄処分、食品ロス。旅館の食事は食べきれないほどの量が出される。

\*生産者への市場の要求が厳しく、多くの規格外野菜がどうしても発生する。

\*コロナ禍で自宅待機の折、粗大ごみ場に多くの

ゴミ処分の車が見られたそうだが、昔の人はものを大事にしてきたと思う。けれど私たちは手軽にものを購入して、気軽に新しいものを買って替えてしまうところも環境問題につながると思う。

### (産業の発展や原発と環境破壊の問題)

\*現実問題、産業の発展とか今の生活を考えると、原発は絶対反対とは言えない。他の危険物だって何とか科学の力で人間がコントロールしながら、この生活を享受してきているのだから、原発問題も同様にコントロールしながらできるのではないか。

### (環境問題にどう取り組むか)

\*日本人は環境がどうの口では言うが、実際行動に移す人は少ない。若い人の価値観も変わってしまい、自分中心の見方が主流。

\*CO<sub>2</sub>、世界レベルの問題だから、各国の行政が規制しないといけない。

\*人体に直接影響があるとか、自然災害をおこす環境問題とかいったことはそのままにできないので、何か自分たちができることあれば取り組む。\*四日市公害の問題が身近なところでききたが、今や河川の水はきれいだし、東京湾もきれいだ。\*リサイクル商品というのは、価格が高くなってしまうがちで、消費者にとって手が出せない。

\*リサイクル商品は、コストがかかりエネルギーも必要とする。全体的に矛盾している。

\*環境問題は小中高の教育レベルから、しっかりと取り組むべきだ。

\*屋根に太陽光発電設備をした。蓄電装置も付けた。しかし投資した割にはチャラだった。自分のところで使う分だけプラス。

\*生活の中でできることは最大限やっている。これ以上何をすればよいのかとわからない。今の便利

な生活を変えることはできない。環境を重視した生活をするというのは現実的でない。

### (環境問題と宗教)

\*今の便利さを捨てられない。しかしおかげさまで感謝する気持ちをおぼわれない。しかしおかげさまで

\*小さいころに言われた「人に迷惑をかけるな」

「食べ物も粗末にするな」とかの宗教的な教えを守っていたら、ゴミのポイ捨てとかは起きないはず。その意味で宗教の入り込む余地はある。

### 今回のまとめ

まとめとして、「地球温暖化」を中心にお話させていただきました。地球温暖化は、主な原因とされている温室効果ガス(特にCO<sub>2</sub>)をどう減らすかということが論点となります。一方で、この取り組みは、生活レベルの低下や、産業の発展が遅れるという見解もあり、なかなか進まないのが現状です。しかし、以前から問題となってきたダイオキシンやオゾン層破壊の問題は、改善されて来ております。CO<sub>2</sub>削減も、できることから取り組み姿勢が求められております。

CO<sub>2</sub>削減は、科学的にも取り組みが進んでおります。CO<sub>2</sub>を多く吸収する海藻を増やすこと



小林昭磨さん  
(6日講 西岸寺)

によって、CO<sub>2</sub>を沿岸域で固定させるブルーカーボンと呼ばれる方法やCO<sub>2</sub>を地中に貯留する方法も試みられております。

原発の問題は、非常に難しい問題です。現在は、エネルギー問題が懸念され、原発の賛否が分かれる中、脱炭素に向けて原発を使い続ける方向に転換されつつあります。一方、原発に比べて安全性が高いと考えられている核融合発電は、放射性物質の発生の問題はなく、CO<sub>2</sub>も排出しないことから環境問題の対策として、現在世界中で実用化に向けた取り組みが進められております。

自然を大切にすることは、自然の中で生かされていることを認識することだと思います。しかし、今の世界は、人が主体になり科学を進展させ、自然をコントロールしようとしています。その結果、世界中で、地球温暖化の影響が疑われる多くの災害が起こっています。阿弥陀経の終わりの部分には、五濁悪世という言葉が説かれております。人は、自分に都合のよいものを飽きることなく求め、自分に都合の悪いものは、怒りをもって排除しようとしています。そのような誤った行動が、自分も人も環境も破壊していきます。また、人と人を育む土と環境は、一体のものであることを表す身土不二という言葉があります。この言葉は、すべてのものは切っても切れない関係で、私を取り巻くすべてのものが私を生かし支えている存在であるということを教えてください。

環境問題を考え、環境保護の重要性を知ること、実は長い年月の中で私たちに届けられてきた「阿弥陀様の願い」を知ることであると思います。そして、その願いが「人は、自然との調和の中で、生かされている」ということを気づかせてくれるのではないのでしょうか。そして、「浄土真宗のみ教え」を永代に渡って伝えていくことと同じように、環境問題においても、その大切さを子や孫の世代に引き継いで、伝えていかなければならないと思います。